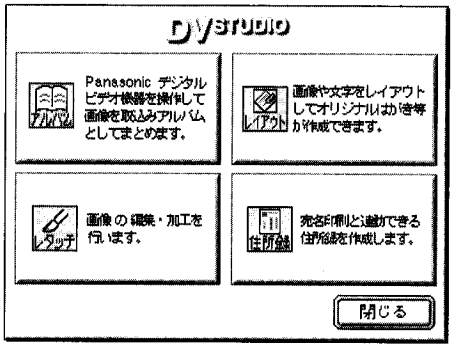
特長

このパソコン静止画キットを使うと・・・

デジタル静止画端子を搭載しているデジカム（当社製デジタルビデオカメラ）とパソコンをつないで、デジカムで撮影した高画質の映像をパソコンにデジタル伝送することができます。

パソコン静止画キットVW-DTA2Mには、デジカム連動のソフト「DVスタジオ2」が付いています。以下の4つのソフトウェアがひとつになった統合ソフトです。



アルバム

- デジタル静止画像を取り込み、アルバムとしてまとめます。（タイトルや日付などの情報を書き込むこともできます）
- パソコン側からデジカムを制御できます。（機種により一部制御できないことがあります）
- 取り込んだ画像を他のソフトウェアで使えるように、いろいろな画像フォーマットに変換できます。

レタッチ

- 取り込んだ画像の編集・加工（トリミング、変形、特殊効果など）ができます。

レイアウト

- 画像や文字データを使って、自由にレイアウトして、オリジナルはがきなどを作ることができます。

住所録

- あて名印刷と連動できる住所録が作成できます。

動作環境

DV スタジオ 2 は、漢字 Talk7.5.3 以降が稼働しているパソコンで使用できます。

対象機種：	Power PC 以上の CPU を搭載する機種 OS 漢字 Talk7.5.3 以降が動作するシステム (CPU の性能によっては、画面表示が遅くなることがあります)
グラフィック表示：	約 1670 万色以上を推奨 (256 色でも動作可能)
搭載メモリ：	32MB 以上（64MB 以上を推奨）
ハードディスク：	50MB 以上の空き容量（150MB 以上の空き容量を推奨）
ディスクドライブ：	CD-ROM ドライブ（4 倍速以上を推奨）
コネクタ：	シリアルポート（ミニ DIN8 ピン）
その他：	マウス

- QuickTime 2.1 以上がインストールされていないと動作しません。
- 68040 などの 68K Macintosh では使用できません。

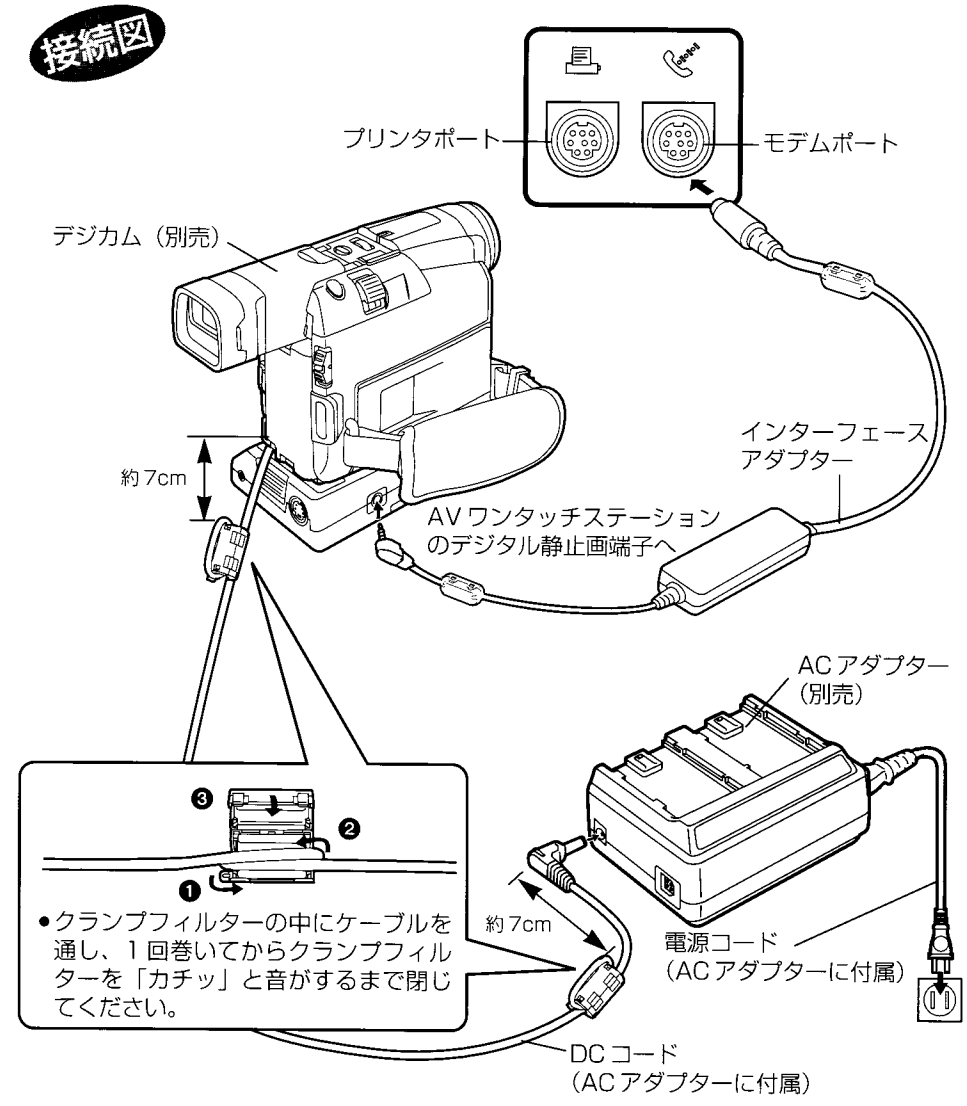
接続

パソコンの「モデムポート」または「プリンタポート」とデジカムのデジタル静止画端子をインターフェースアダプターでつなぐだけで接続は完了です（右図参照）
（モデムポートとプリンターポートの両方をお使いの場合はどちらかを外してから接続します）

お願い・ヒント

- 接続する時は、パソコンおよびデジカムの電源を切っておき、接続完了後にデジカムの電源を入れ、その後パソコンの電源を入れてください。
- パソコン静止画キットを使用するときは、デジカムの電源として、AC アダプター（別売）を使うことをおすすめします。
- AC アダプターを使う場合は、妨害電波の発生を抑えるために、必ず DC コードに付属のクランプフィルターを付けてください。デジカム側と AC アダプター側の 2 個所に付けます。プラグの先から約 7cm の位置に付けてください。（右図参照）
- DV スタジオ 2 使用中にインターフェースアダプターを抜かないでください。ソフトウェアが正常に動かなくなる場合があります。また転送中のデータが破損することがあります。
- LocalTalk をネットワークで使用している場合は、プリンタポートに接続することはできません。(LocalTalk ケーブルを外して、AppleTalk を不使用にすると使えます)
- シリアルポートを占有するソフトウェアを使用している場合、そのソフトウェアを使っていなくても、パソコン起動時に自動的にプログラムが有効になる場合があります。この場合、そのプログラムを無効にしてください。
- デジカムにモニターテレビなどを接続すると、画像を確認するのに便利です。
  また、キャプチャーボード（オーバーレイ機能付き）を搭載したビデオ入力端子のあるパソコンでは、再生画像をパソコンのモニターに表示させることもできます。

接続図

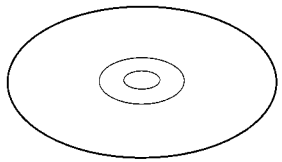


ご使用前に

CD-ROM をパソコンに入れると、フォルダーが自動で開きます。[DV スタジオ 2(PPC)] フォルダー内の「はじめにお読みください」のファイルをダブルクリックしてください。マニュアルの補足説明が Simple Text で開きますので、ご使用前に必ずよくお読みください。

インストール

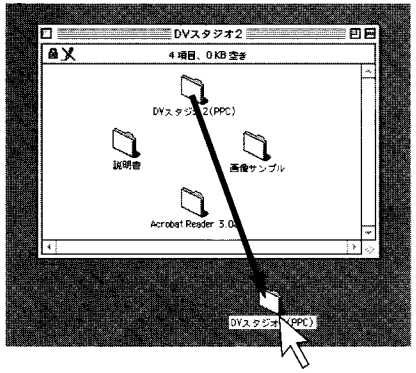
1



DV スタジオ 2 の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れる

CD-ROM のフォルダーが開きます。

2



任意の場所にコピーする

CD-ROM のフォルダーから［DV スタジオ 2（PPC)］フォルダーをドラッグ・アンド・ドロップします。

インストールすると便利なファイル

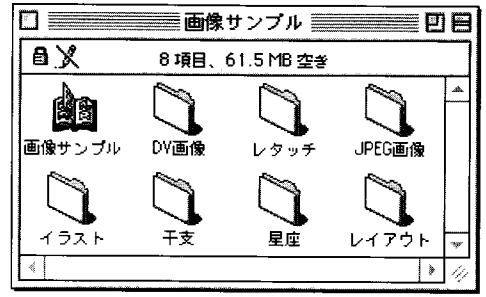
CD-ROM［説明書］、［画像サンプル］などはハードディスクに余裕がある場合にインストールすると便利です。
CD-ROM から直接呼び出して使うこともできます。

［説明書］フォルダー　：Acrobat Reader3.0J で読むことのできる PDF 形式のファイル
［画像サンプル］フォルダー：画像、イラストのサンプルファイル

サンプルデータについて

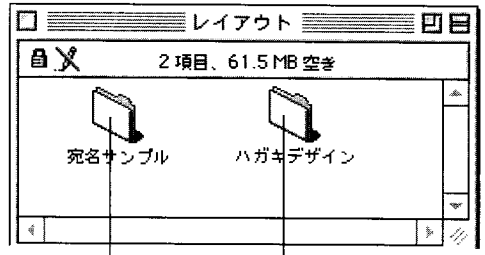
CD-ROM 内にいくつかのサンプルデータが入っています。ご自分で撮影された映像と組み合わせて、楽しい作品を作ることができます。

「画像サンプル」フォルダー内には以下のフォルダーあります。



- DV 画像データ
- レタッチ用データ
- JPEG 画像データ
- イラストデータ
- 干支イラストデータ
- 星座イラストデータ
- レイアウト

「レイアウト」フォルダー内には以下のフォルダーあります。



あて名書き用テンプレート　ハガキ裏面用テンプレート

DV 画像データ

DV フォーマットで取り込まれた画像を収録しています。
アルバムのメニューバーから［編集］→［フォルダからのサムネイル画像の登録･･･］を実行し、「画像サンプル」フォルダー内にある「DV 画像」フォルダーを選び、［登録］をクリックしてください。

画像データ

フォトアルバムに登録して自由にお使いいただくことができます。
アルバムのメニューバーから［編集］→［サムネイル画像の登録］を実行し、「画像サンプル」フォルダー内にある「イラスト」、「星座」、「干支」などのフォルダーよりお選びください。

レイアウトデザイン用テンプレート

年賀状や暑中見舞いなどよく使うポストカードのデザインをテンプレートとしてあらかじめ収録しています。
レイアウトのメニューバーから「ファイル」→「開く」を実行し、「画像サンプル」の中の「レイアウト」フォルダーからお好きなデザインをお選びください。

DVスタジオ２について

DVスタジオ２の使いかたは、CD-ROM内の[説明書]で説明しています（DVスタジオ２のヘルプ画面でも同様の説明をしています）が、ここでは、簡単にDVスタジオ２を使って、デジカムの再生テープから任意の画像を取り込み、その画像を使ってはがき印刷までの手順を説明します。
（DVスタジオ２の起動から説明しています。接続、インストールがまだの場合は、まず４ページからお読みいただいて、準備を完了してください）

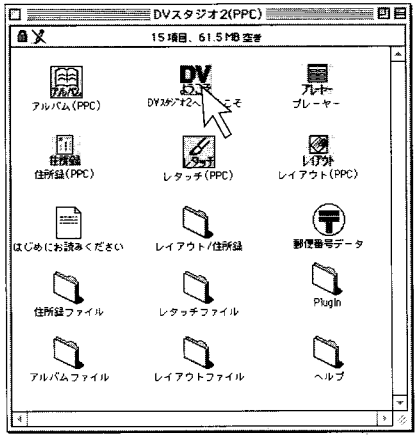
1 画像を取り込んで登録する（アルバム）

1

接続が正しいか確認する（P６）

＊デジカムに取り込みたい画像が記録されているテープを入れておきます。

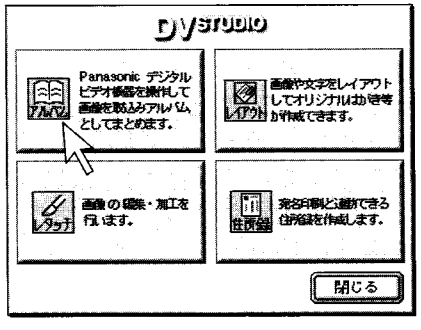
2



[DVスタジオ２へようこそ]をダブルクリックする

DV STUDIOが起動します。

3



[アルバム]をクリックする

アルバムとプレーヤーが起動します。

＊デジカムは再生ができる状態（停止モード）にしておいてください。

4

取り込みたい画像を静止画再生する

プレーヤーのボタンを操作して、希望の画面を再生または静止画再生します。

＊取り込みたい画像が静止画再生されているか、デジカム側のファインダーやモニターで確認してください。
（プレーヤー側に再生画像は表示されません）

● **プレーヤー起動時に、「接続エラー」のメッセージが表示される場合は**
インターフェースアダプターをつないでいるパソコンのポートを確認し、その接続ポートを選んでください。また、デジカムの電源が入っているかを確認してください。（デジカムに異常がないかどうかも確認してください。つゆつきや警告表示などが出ていると、正常に動作しません）

● **インストールは完了したが、DVスタジオ２が起動しない場合は**
本説明書６ページを参照して、パソコンの動作環境を確認してください。お使いのパソコンが動作環境に適合していない場合は、起動しません。

● **デジカムを直接操作する場合は**
プレーヤーを使わないで、デジカム側を直接操作して、静止画再生しておくこともできます。ただし、プレーヤー側で操作しているときは、デジカムを直接操作しないでください。誤動作する場合があります。

● **自動で画像を取り込む場合**
[自動取込]ボタンをクリックすると自動取込形式設定画面が現れます。必要な設定をしたあとに、[OK]をクリックしてください。

● デジカムの電源スイッチが「撮影」、「切」、「再生」のようになっているものは、「再生」にしてください。
自動では「再生」に切り換わりません。カメラからの映像を取り込む場合は、「撮影」にしておいてください。
デジタルスチルカメラ機能を持ったカメラの場合は、メモリー画像を取り込むこともできます。

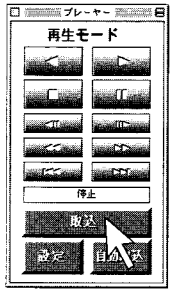
● 「撮影」モードでは画像を取り込めない機種があります。

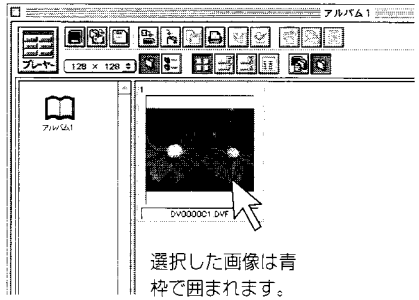
詳しくはCD-ROM説明書、またはヘルプを参照してください。

DVスタジオ2について

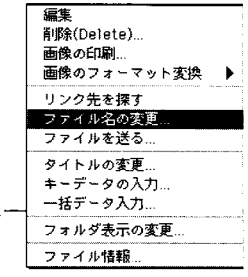
1 画像を取り込んで登録する（アルバム）（つづき）

5





選択した画像は青枠で囲まれます。



コンテクストメニュー

画像をクリック（選択）し、パソコンの［control］キーを押しながら、マウスをクリックすると、コンテクストメニューからも画像を操作できます。

［取込］をクリックして画像を取り込む

画像の取り込みが始まります。完了すると、アルバムに画像が表示されます。

＊通常の再生中に静止画像を取り込むこともできます。

プレーヤーを閉じても、アルバムはそのまま使えます。

画像のフォーマット変換や画像情報の表示、入力などをするときは：

画像をマウスでクリック（選択）し、

- **画像フォーマットの変換は**メニューバーの［編集］→［画像のフォーマット変換］を選び、［PICT］、［TIFF］、［JPEG］、［PCF］から選択します。
- **画像情報の表示は**メニューバーの［表示］→［ファイル情報］を選択します。
- **画像検索用の情報を付加するときは**メニューバーの［選択］→［キーデータ入力］を選択します。

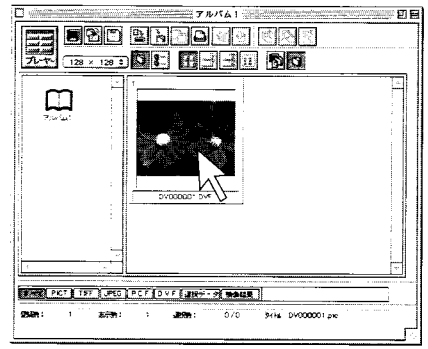
次ページで説明している画像の編集加工（レタッチ）をする場合は、パソコンで扱える画像フォーマット（PICTやTIFFなど）に変換する必要があります。

アルバム画面に取り込まれたデータをダブルクリックすると、自動的にPICTファイルに変換され、同時にレタッチが起動します。（次ページ参照）

（詳しくは、CD-ROM説明書またはヘルプを参照してください）

2 画像を加工する（レタッチ）

1

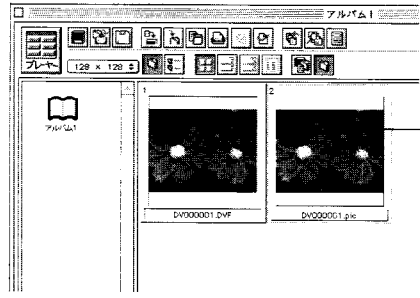


アルバム内の画像をダブルクリックする

レタッチソフトが起動します。

取り込んだデータは、dvfファイルです。*
dvfファイルをダブルクリックすると、自動的にPICTファイルに変換された画像を表示します。

* PICTファイルの画像を取り込むこともできます。詳しくはCD-ROM説明書またはヘルプを参照してください。



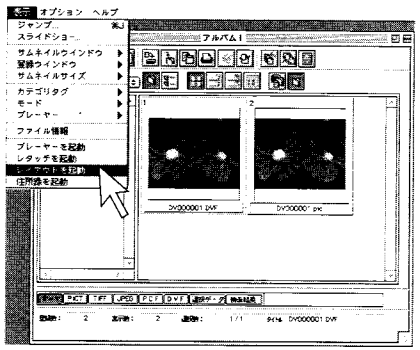
PICTファイル

レタッチソフトを使うと、
・画像のトリミング
・変形、回転
・拡大、縮小
・特殊効果
などの編集、加工ができます。
（詳しくはCD-ROM説明書、またはヘルプを参照してください）

DVスタジオ2について

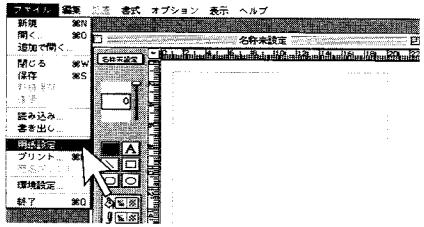
3 画像を使ってレイアウトする（レイアウト）

1



アルバムソフトやレタッチソフトのメニューバーの［表示］でレイアウトソフトを起動する

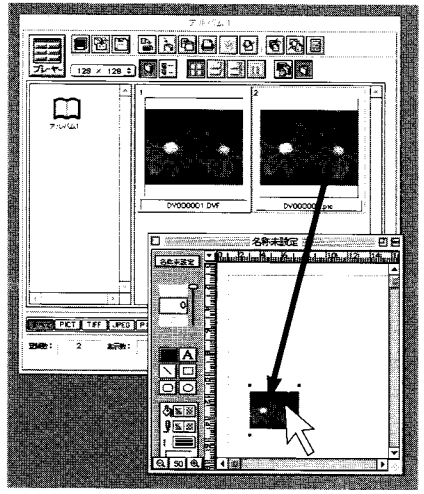
2



メニューバーの［ファイル］で［用紙設定］を選び、用紙の方向、サイズを決める

ここでは用紙をはがきサイズ、方向をたてに設定します。

3

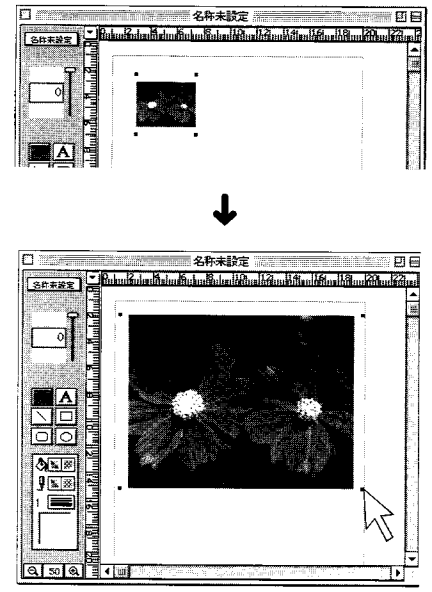


アルバムソフトに登録されている画像を、レイアウトソフトにドラッグアンドドロップする

2つのソフトをデスクトップに並べて操作すると、簡単にはり込めます。

- dvfファイルはドラッグアンドドロップできませんので、PICTやJPEGに変換しておいてください。

4



自由に配置する

レイアウトソフトにはり付けた画像は、自由に移動したり、拡大、縮小ができます。

ここでは、絵はがきのように画像を大きくします。

- 画像の隅をドラッグすると画像の拡大、縮小ができます。
- 画像の縦横比を変更したいときは、画像をダブルクリックして、画像の表示方法を［ボックスにあわせる］に設定します。

5

文字を書く

文字を書いてレイアウトすることができます。

❶ A ボタンをクリックする

❷ レイアウト画面内の任意の場所をクリックしてから、

❸ 文字を入力する
メニューバーの［書式］でフォント、文字のサイズ、縦･横書きを選択できます。

DVスタジオ2について

3 画像を使ってレイアウトする(レイアウト)(つづき)

6

印刷する

完成したレイアウトを印刷します。

❶ パソコンにプリンターが正しく接続され、設定されていることを確かめる

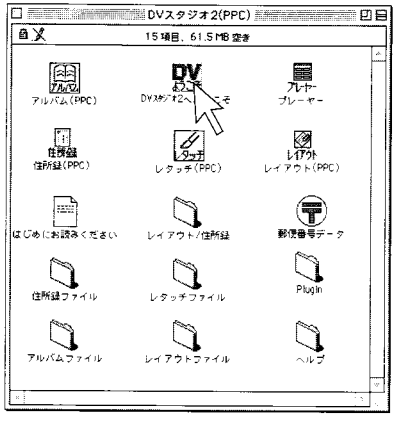
❷ メニューバーの［ファイル］で［プリント］を選ぶ

プリンターの用紙設定など、ご使用になるプリンターによって操作が異なります。お使いのプリンターの説明書を参照して、はがきサイズでプリントしてください。

作成したアルバム、画像、レイアウトを残したい場合は、必ず保存してください。
メニューバーの［ファイル］→［上書き保存］を選びます。
保存に関するメニューが表示されますので、保存先とファイル名を入力してください。
レイアウトソフトの場合、はり付けた画像のファイル名、保存場所を管理していますので、レイアウトを作成後、画像を移動したり、削除すると、そのレイアウトは表示できなくなります。

4 あて名を印刷する（住所録）

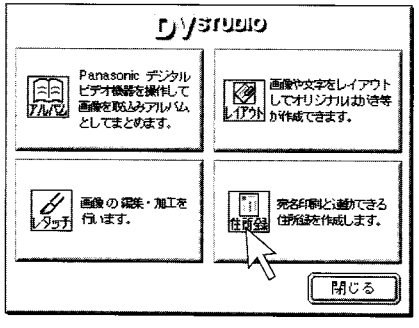
1



［DVスタジオへようこそ］をダブルクリックする

DV STUDIOが起動します。

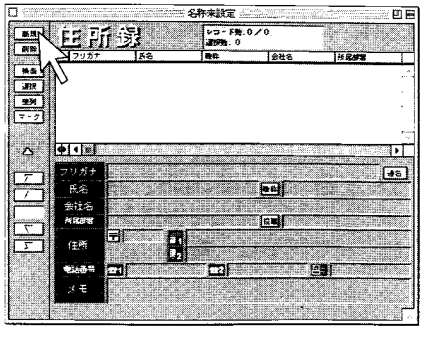
2



［住所録］をクリックする

住所録が起動します。

3

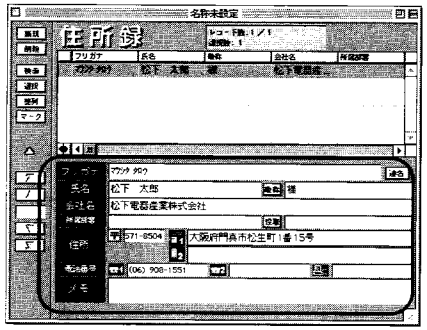


［新規］をクリックする

DVスタジオ2について

4 あて名を印刷する（住所録）（つづき）

4



氏名、会社名、住所などを入力する

［Tab］キーを押すと、カーソルが次の項目に移動します。

↓

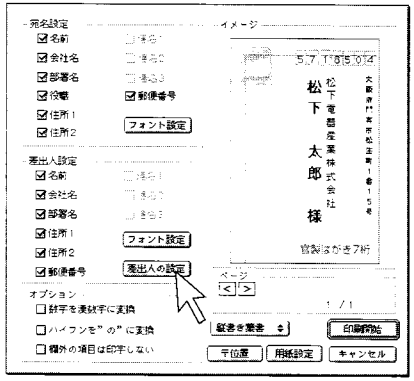
5

メニューバーの［ファイル］で［宛名プリント］を選ぶ

イメージと各種設定画面が表示されます。

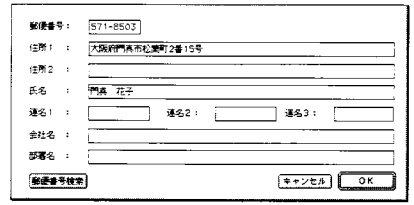
↓

6



［差出人設定］をクリックし、差出人の住所、氏名などを入力する

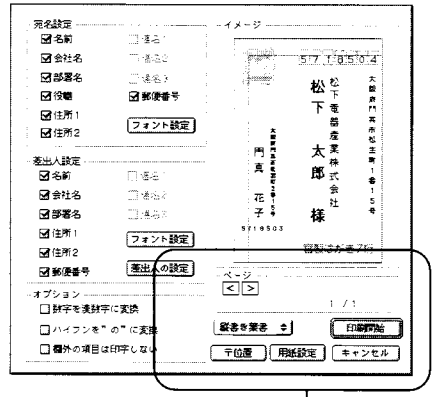
↓



［Tab］キーを押すと、カーソルが次の項目に移動します。

↓

7



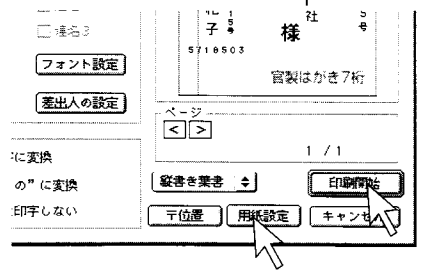
印刷したい項目をチェックし、必要な設定をする

イメージ画像を見ながら、必要な項目を設定してください。

詳しくはCD-ROM説明書、またはヘルプをご参照ください。

↓

8



［用紙設定］で用紙サイズを選んで、［印刷開始］をクリックする

あて名印刷を始めます。

＊プリンターの用紙設定など、ご使用になるプリンターによって操作が異なります。お使いのプリンターの説明書を参照して、はがきサイズでプリントしてください。

以上でデジタルビデオカメラから取り込んだ画像を使用して、絵はがきをプリントするまでの操作を簡単に説明しました。各ソフトの詳しい説明は、CD-ROM説明書、またはヘルプを参照してください。
作成したアルバム、画像、レイアウト、住所録を残したい場合は、必ず保存してください。

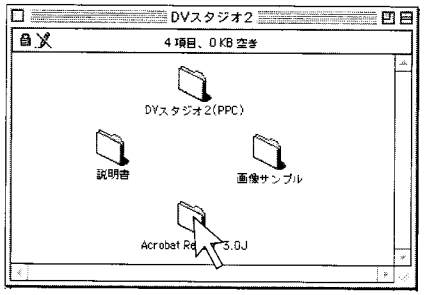
CD-ROM説明書について

DVスタジオ２の使いかたは、パソコンの画面で見ることのできるCD-ROM説明書（機能説明用の取扱説明書）に詳しく説明しています。
CD-ROM説明書は、PDF形式のファイルになっており、これを見るためには、Adobe Acrobat Reader3.0Jを先にパソコンにインストールしておく必要があります。

Adobe Acrobat Reader 3.0Jのインストール

すでにお使いのパソコンにAdobe Acrobat Reader3.0Jがインストールされている場合は、この操作は不要です。

1

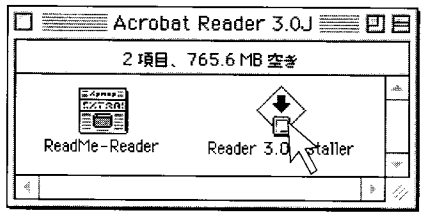


CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れ、[Acrobat Reader3.0J]をダブルクリックする

[Acrobat Reader 3.0J]が開きます。

↓

2

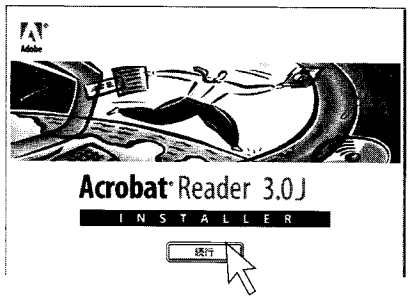


[Reader 3.0 Installer]アイコンをダブルクリックする

Acrobat Reader 3.0Jのインストールが始まります。

↓

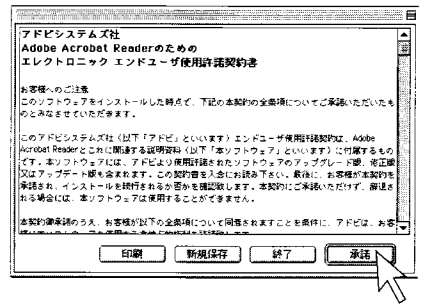
3



[続行]をクリックする

Acrobat Reader 3.0Jのインストールが続行します。

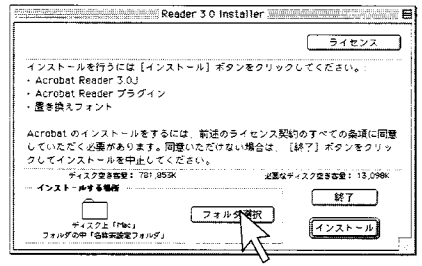
4



メッセージをよく読んだ後、[承諾]をクリックする

↓

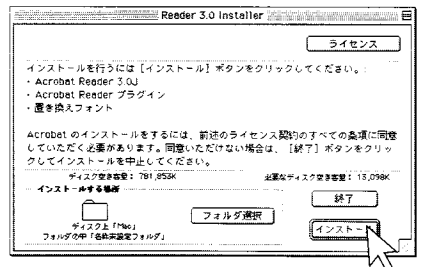
5



[フォルダ選択]をクリックして、インストールするフォルダーを選ぶ

↓

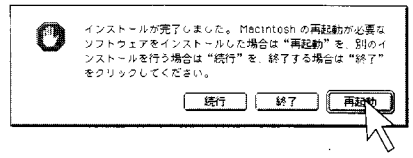
6



[インストール]をクリックする

インストールが終わったら、再起動してください。
再起動後、CD-ROM説明書を読むことができます。

[Read Me – Reader]をクリックして、よくお読みください。



CD-ROM説明書について

CD-ROM説明書を見る

Adobe Acrobat Reader3.0Jがインストールされていれば、CD-ROM説明書ファイル（PDFファイル）をダブルクリックするだけで、CD-ROM説明書を見ることができます。

CD-ROM内の［説明書］をダブルクリックし、［説明書.pdf］アイコンをダブルクリックする

CD-ROM説明書が起動します。

後は、CD-ROM説明書をよくお読みください。

Adobe Acrobat Reader3.0Jの使いかたは、ツールバーの［ヘルプ］をクリックして、ヘルプ画面を参照してください。

＊「しおりとページ」表示にすると、便利です。

使用上のお願い

各ソフトの補足事項

登録可能件数

住所録：　1ファイルに付き999件
レタッチ：　1度にオープンできるのは約50ファイル
レイアウト：　1ドキュメント
アルバム：　1つのアルバムに付き999件

＊ただし、各ソフトともにメモリー、ハードディスク残量の制限を受けます。

画像編集時の空きメモリ容量

レタッチソフトにより画像の編集を行う場合は、最低でも画像ファイルサイズの約3倍の空きメモリ（仮想メモリを含む）を必要とします。レタッチにより画像ファイルをオープンできない場合は、メモリーの割り当て（メモリーの使用サイズ）を大きくしてから、再度読み込みを行ってください。

レタッチソフトで編集できる画像のフォーマット

- PICTファイル
- JPEGファイル
- TIFF無圧縮ファイル
- PCFファイル
（レタッチソフト専用ファイル）

アルバムソフトに登録できる画像のフォーマット

- PICTファイル（ピクトファイル）
- JPEGファイル（RGB）
- TIFFファイル（無圧縮RGB、パレット、グレイスケール、2値）
- レタッチソフトファイル（PCF）
- デジカムからの取り込みファイル（DVF）

上記以外のフォーマットは登録できません。

レイアウトソフトの座標系

レイアウトソフトの編集領域やフォントサイズなどは16bitまでに制限されます。このため、ある一定サイズ以上の編集領域を指定したり、あまりに大きすぎるフォントサイズを指定した場合は正しく動作しない可能性があります。

ユーザーサポートについて

ソフトウェア「DV スタジオ 2（品番：DV スタジオ 2/Mac）」のユーザーサポートにつきましては、株式会社ピクセラに業務委託しております。お問い合わせは、下記の「株式会社ピクセラ　ユーザサポート部」へお願いいたします。

ユーザー登録カード

はがきに必要事項をご記入いただき、できるだけ早くご返送ください。

- 登録いただきましたお客様に各種のサービスを提供させていただきます。
- ユーザーサポートにつきましては、登録ユーザー様に限らせていただきます。

ユーザーサポート

お問い合わせの際には、下記の用紙をコピーして、各項目をご記入のうえ、あらかじめファクスで送っていただきますよう、お願いします。

お問い合わせ用紙　　FAX　0722－24－7177

お名前	:
電話番号	:
ファクス番号	:
製品名	: DV スタジオ 2/Mac
シリアル番号	
コンピュータ	: 機種　　名称
RAM 容量	:　　MB
ハードディスク	: 空き容量　　MB ／総容量　　MB
使用デバイスドライバなど	:
問題点の具体的な状況	

*** シリアル番号は、登録はがきに記載されています。**

ご質問の内容によっては回答までにお時間を頂戴する場合がございます。
あらかじめご了承ください。
なお、弊社ではご使用のコンピュータについての基本的な操作方法、アプリケーションの仕様やその動作に関する事項などについては、一切お答えできません。

株式会社　ピクセラ　ユーザサポート部
〒590-0985　大阪府堺市戎島町４―45―1　ポルタス・センタービル
Phone.　0722―24―7311　Fax.　0722―24―7177
受け付け時間は平日 10:00 ～ 13:00、14:00 ～ 17:00 で土曜日、日曜日、祝祭日を除きます。